足立区ユニバーサルデザイン推進会議　会議概要

会　議　名	第２８回足立区ユニバーサルデザイン推進会議		
事　務　局	都市建設部都市計画課、ユニバーサルデザイン担当課、 総務部総務課、福祉部障がい福祉課		
開催年月日	令和３年５月１４日（金）		
開催時間	午後２時３２分　～　午後４時４０分		
開催場所	足立区役所　中央館８階　特別会議室		
区長の出席	有・無（無に丸印）		
出　席　者	会長 八藤後　猛　委員	署名委員 山田　あすか　委員	上野　須美代　委員
	村田　雅利　委員	金子　孝一郎　委員	長澤　陽子　委員
	田中　功一　委員	内田　眞　委員	白石　啓　委員
	永野　充　委員	渡部　郁子　委員	総務部長 松野　美幸　委員
	障がい福祉推進室長 中村　明慶　委員	都市建設部長 犬童　尚　委員	
欠　席　者	金井　秀之　委員		
関係区職員	事　務　局		
	ＵＤ担当課長 安岡　毅	ＵＤ担当係長 白勢　和道	景観計画係員 米本　仁
資　料	第２８回足立区ユニバーサルデザイン推進会議次第 第２８回足立区ユニバーサルデザイン推進会議座席表 ・資料１　令和３年度足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿 ・資料２　第２７回足立区ユニバーサルデザイン推進会議議事録 ・資料３　令和３年度の年間スケジュール ・資料６　「令和２年度実施事業」の評価方法及び分類基準 ・資料７－１　令和２年度実施事業　個別施策及び評価候補一覧表 ・資料７－２　区が実施する個別施策の評価結果の年度別推移一覧表 ・資料８　施策評価要領 ・資料９　足立区ユニバーサルデザイン推進会議　評価部会名簿（案）		

	・資料１０　　施策の事前評価　記入例 ・資料１１　　東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会競技施設におけるユニバーサルデザインの検討状況の確認について ・参考資料１　令和２年度（令和元年度分実施事業分）評価部会タイムスケジュール ・参考資料２　評価部会の進行手順（案） ・参考資料３　足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例・施行規則（抜粋）
そ　の　他	傍聴人：有・無（〇囲み）　（　人） その他の参加者：有・無（〇囲み）

（審議経過）
開会
○安岡ＵＤ担当課長　定刻を過ぎましたので、始めさせていただきたいと思います。
改めまして、皆さんこんにちは。本日は、お忙しい中、第２８回足立区ユニバーサルデザイン推進会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。
私は、司会を務めさせていただきます足立区都市建設部ユニバーサルデザイン担当課長の安岡と申します。よろしくお願いいたします。
今回も、新型コロナ感染防止対策として、会場においては窓開けをして、会議室内を換気させていただいております。また、ウェブでの会議参加も併用させていただいております。
それでは、まず本日の資料確認をさせていただきます。
事前にお送りし、本日お持ちいただいた資料になります。
第２８回足立区ユニバーサルデザイン推進会議次第。
会場の案内図と座席表。
資料１としまして、令和３年度足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿。
資料２としまして、第２７回足立区ユニバーサルデザイン推進会議議事録。
資料３としまして、令和３年度の年間スケジュール。
資料４、５は後ほど説明いたしますけれども、次に資料６、「令和２年度実施事業」の評価方法及び分類基準。
資料７－１、令和２年度実施事業個別施策及び評価候補一覧表。
資料７－２、区が実施する個別施策の評価結果の年度別推移一覧表。
資料８、施策評価要領。
資料9、足立区ユニバーサルデザイン推進会議評価部会名簿（案）。
資料１０、施策の事前評価記入表。
資料１１、東京２０２０大会競技施設におけるユニバーサルデザイン状況の確認について。
参考資料１、令和元年度実施事業評価部会タイムスケジュール（案）。
参考資料２、評価部会の進行手順。
参考資料３、足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例及び施行規則の抜粋。
補足資料としまして、本日の到達目標と今後の予定の骨子になります。
以上が事前にお送りした資料です。
次に、事前にお送りした資料のうち、本日差し替えをお願いするものですけれども、席上配付させていただきました最後の補足資料、本日の到達目標と今後の予定の骨子になります。若干の変更なのですけれども、ウェブの方については、ウェブ上に表示したいと思っております。
なお、大変申し訳ございません。先ほど白勢からもあったのですけれども、施策評価資料の資料となります資料４、区が実施する個別施策の担当所管自己評価まとめ（令和２年度の評価シート）、資料５の区が実施する個別施策の担当所管自己評価まとめ（令和２年度実施報告書）につきましては、まだ取りまとめができておりません。でき次第、皆様にお送りさせていただきたいと思いますので、ご了承ください。
以上が本日の会議資料となりますが、不足、落丁等がございましたら事務局までお申し出ください。
○松野委員　資料７－１が不足しているので、申し訳ございませんがお願いします。
○安岡ＵＤ担当課長　大変失礼いたしました。
次に、皆様に２つほどお願いがございます。
まず、本日の会議の議事録を作成する関係上、議事録を作成する委託業者を出席させていただいております。本日の会議内容について録音させていただきます。また、記録として背後から会議中の写真撮影をさせていただきますので、併せてご了承ください。

委員の委嘱、会長及び副会長の選任
○安岡ＵＤ担当課長　続きまして、資料１、令和３年度足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿をご覧ください。
今回が委員会改選後初めての会議となります。時間も限られておりますので、私から皆様のお名前をお呼びいたしますので、簡単なご挨拶、自己紹介をお願いいたします。
それでは、名簿順にお呼びいたします。
まず、日本大学理工学部教授、八藤後猛様。
○八藤後委員　ただいま紹介にあずかりました日本大学の八藤後でございます。もう大

分長くやらせていただいております。少しでもお役に立てればというふうに思っております。去年、今年と非常に難しい社会情勢なのですけれども、それでもユニバーサルデザインの推進を滞りなくいくように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。
〇安岡ＵＤ担当課長　八藤後先生、ありがとうございました。
　続きまして、東京電機大学未来科学部教授、山田あすか様です。
〇山田委員　こんにちは、山田でございます。八藤後先生がおっしゃったように非常に難しい状況というのがありまして、そういう中でも数々の施策が動いていることをとてもうれしく思います。東京電機大学は足立区にある大学でございますので、部分的には地元民のつもりで参加をしております。どうぞよろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　どうもありがとうございました。
　続きまして、足立区町会・自治会連合会女性部部長、上野須美代様です。
〇上野委員　皆さん、こんにちは。初めまして。前の人から受け継いだもので、あまり分かりませんので、何とぞよろしくお願いいたします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございました。
　続きまして、足立区まちづくり推進委員代表、村田雅利様です。
〇村田委員　村田でございます。今年度からまたよろしくお願いいたします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございました。
　続きまして、足立区障害者団体連合会事務局長、金子孝一郎様です。
〇金子委員　こんにちは、金子です。私も八藤後先生と同じように古いのですけれども、それとともに年齢を重ねているものですから、いろいろなところの衰えが目立ってきているのですけれども、それでも何とか皆さんに必死になってついていこうと思いますので、よろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございました。
　続きまして、足立区女性団体連合会理事、長澤陽子様です。
〇長澤委員　長澤と申します。今回２期目となります。よろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございます。
　続きまして、足立区商店街振興組合連合会副理事長、田中功一様です。
〇田中委員　田中です。僕は、商店街目線というか、商店街で買い物をするお客さん目線みたいな感じで参加できればいいかなと思っています。よろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございます。
　続きまして、足立区建設業協会幹事、内田眞様です。
〇内田委員　内田です。２期目になります。よろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　続きまして、東武鉄道株式会社、白石啓様。お願いいたします。
〇白石委員　東武鉄道の白石です。昨年に引き続きまして今年度もよろしくお願いいたします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございました。
　続きまして、公募による区民委員の永野充様です。
〇永野委員　皆さん、こんにちは。永野充といいます。今回初めて参加させていただくのですけれども、私は飲食店を２店舗ほど経営しております。私も飲食店の目線と素朴な疑問とかをいろいろ質問しながら、皆さんのお力になれたらと思います。２年間よろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございます。
　同じく、公募による区民委員の渡部郁子様です。
〇渡部委員　渡部です。昨年までは川口の名前で参加しておりました。なので、結婚したわけでも離婚したわけでもないのですが、仕事上旧姓で活動しておりまして、今回は渡部にかえて参加させていただきます。よろしくお願いします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございました。
　続きまして、足立区委員の紹介をさせていただきます。
　足立区職員、総務部長の松野です。
〇松野委員　足立区総務部長の松野です。よろしくお願いいたします。
〇安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございます。

続きまして、福祉部長、福祉部障がい福祉推進室長兼務の中村です。
○中村委員　福祉部長の中村でございます。障がい福祉推進室長も兼ねております。どうぞよろしくお願いいたします。
○安岡ＵＤ担当課長　続きまして、都市建設部長の犬童です。
○犬童委員　都市建設部長の犬童でございます。今日はこういう状況の中ご参加いただき、ありがとうございます。ユニバーサルデザインは区の中でも横串の政策ということで全庁に関わることなので、ご審議のほどよろしくお願いしたいと思います。
○安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございました。
皆様の任期は令和５年３月３１日までとなっております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。
また、本日、定数１５名のところ、過半数を超えておりますので、会議が有効に成立していることをご報告いたします。
それでは、開会に先立ちまして、本日が改選後初めての足立区ユニバーサルデザイン推進会議となりますので、会長及び副会長の選任をお願いいたします。
足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例規則第６条には、「委員の互選により会長及び副会長を定める」となっております。
それでは、ただいまから委員の皆様に会長及び副会長の互選をお願いいたします。
まず会長の互選について、ご意見等がありましたらお願いいたします。
○金子委員　また八藤後先生に継続して会長をやっていただければと思います。私事を先ほども言いましたけれども、いろいろな意味で記憶力とかそういうものが衰えてきていて、八藤後先生はすごく優しくて、それをフォローしてくれていますので、皆さんもこんなことを質問していいのかななんていうことがあろうかと思うのですが、それでも大丈夫ですので、ぜひまた八藤後先生によろしくお願いしたいと思います。以上です。
○安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございます。ほかにご意見等ありませんでしょうか。
それでは、委員の皆様にお諮りいたします。ただいま金子委員から、会長に八藤後委員を推薦する旨のご意見がありました。いかがでしょうか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
○安岡ＵＤ担当課長　異議なしとの声が多数でございます。ありがとうございます。
それでは、会長には八藤後委員にご就任いただくことに決定いたしました。
続きまして、副会長ですが、いかがでございましょうか。
○八藤後会長　八藤後でございます。ご推薦をいだたいたようでありがとうございます。そういうことになったようでございますので、どうかよろしくお願いいたします。
僭越でございますが、私から、副会長に山田委員に引き続きご就任いただけるとありがたいのでございますが、いかがでございましょうか。
○安岡ＵＤ担当課長　ただいま八藤後会長より副会長に山田委員の推薦がありましたが、いかがでございましょうか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
○安岡ＵＤ担当課長　ありがとうございます。それでは、副会長には山田委員にご就任いただくことで決定いたしました。
八藤後会長、山田副会長、今期も引き続きよろしくお願いいたします。
それでは、会長、副会長に、それぞれご挨拶をいただきたいと思います。
まず八藤後会長、お願いいたします。
○八藤後会長　そういうことでございまして、また今期、会長を務めさせていただくことになりました日本大学の八藤後でございます。改めまして、どうかよろしくお願いいたします。
先ほど委員の挨拶のところで言ってしまったのですけれども、この任期は非常に難しいというふうに思いました。それでもユニバーサルデザインは滞りなくというか、今まで以上に進展させるという結構重責な任務についてしまいましたので、皆様方にご協力をいただいて、コロナ禍でもちゃんとできたねというふうに後から言われるような推進会議にしたいなと思います。私一人の力ではありません。皆さん、どうかよろしくお願いいたします。
今日はリモートで参加させていただきました。実は去年までは、私の身近なところで感染者というのはほとんどというか、こんな大学という大きな組織なのですが、私の知っている人はほとんどいませんでしたが、今年度に入ってから続々と若い人も含めて出てきておりまして、事態はかなり去年に比べる

と悪化していると認識しております。
　そういうことで、この会議もいろいろな方法で開催されると思います。それだけに会議の進め方は難しいと思いますが、皆様や区の方と相談をして円滑に進めるようにしたいと思います。進め方などが何かご意見などありましたら、また後でお教えいただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。
○安岡ＵＤ担当課長　八藤後会長、ありがとうございました。
　山田副会長、ご挨拶をお願いいたします。
○山田副会長　副会長という立場で今期もやらせていただいているのですが、こちらの会議は皆様からのご意見が広く出てくる非常に興味深い会だなと感じています。もちろんこの会議の目的自体というものは出していくべきところなのですが、この機会を通して様々な意見を交換し、そういったことが区の様々な区政活動において展開していくことをとても楽しみにしています。引き続きよろしくお願いいたします。
○安岡ＵＤ担当課長　山田副会長、ありがとうございました。
　それでは、これからの議事進行は、足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例施行規則第６条第２項に基づき、八藤後会長にお願いいたします。八藤後会長、よろしくお願いいたします。
○八藤後会長　承知いたしました。万一私のほうの機器の状況が悪くて支障が出た場合には山田副会長が代行するということで、あらかじめよろしくお願いしたいと思います。――ないと思いますが。では、皆さんよろしくお願いいたします。
　では、事務局に確認をしたいのですけれども、本日の会議の到達目標についてご説明ください。
○安岡ＵＤ担当課長　それでは、本日差し替えでお配りしました「本日の到達目標と今後の予定（骨子）」をご覧ください。
　主な到達目標は３点ございます。
　まず目標の１としまして、報告・承認事項です。（１）、（２）の各項目の報告と承認。細かく申しますと、第２７回議事録の承認と第２８回議事録署名人の指名、令和３年度の推進会議スケジュールとなります。なお、（３）の資料４、５につきましては、誠に申し訳ございません。後日送付させていただきます。目標２といたしましては、審議事項の（１）と（２）令和２年度実施事業の評価方法及び評価施策の振り分けについて（資料６～１０、参考資料１～３）、皆様でご議論いただきたいと思っております。
　目標３としましては、審議事項（３）東京オリンピック・パラリンピック競技施設の視察について、事務局から現状の検討状況についてご説明させていただきます。
　以上が本日の到達目標となっております。
○八藤後会長　分かりました。それでは、その部分を念頭に入れて会議を進めていきたいと思います。

報告・承認事項（１）第２７回議事録の承認と第２８回議事録署名人について
○八藤後会長　それでは、次第「３　議事」の報告・承認事項（１）第２７回推進会議議事録の承認と第２８回推進会議議事録の署名人についてに入りたいと思います。
　議事録の内容について、事務局から説明願います。
○白勢ＵＤ担当係長　それでは、第２７回ユニバーサルデザイン推進会議の議事録についてですが、この新型コロナウイルス感染拡大の状況でウェブ会議を実施しているという観点と、皆さんに事前にお配りしているという２つの観点で、すみません、今回は時間短縮のため説明は省略させていただきたいと思います。皆様にはご一読いただきたいと思っております。
　続きまして、議事録の署名人について、ご説明させていただきます。
　足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例施行規則第１０条に、推進会議の議事録を作成し保存すること、また、議事録は会長及び会長が指名する委員が署名することと定められています。
　つきましては、本日のユニバーサルデザイン推進会議の議事録の書名人について、八藤後会長からご指名をしていただきたいと思います。以上でございます。
○八藤後会長　それでは、署名人なのですけれども、皆様方のお手間を取ることもないかなと思いまして、私と山田副会長ということで、２人でやりたいと思います。というか、山田副会長よろしゅうございますでしょうか。
○山田副会長　大丈夫です。
○八藤後会長　ありがとうございます。とい

うことで、ご承認いただいたということで、皆さんよろしいですか。では、私と山田副会長とで議事録署名人をやらせていただきます。

報告・承認事項（２）今後のスケジュールについて

○八藤後会長　それでは、次第３の報告・承認事項（２）今後のスケジュールについて、事務局からの説明をお願いします。

○白勢ＵＤ担当係長　今から資料３を画面共有させていただきます。少々お待ちください。

すみません。ちょっと資料が出ないので、皆さんのお手元の資料をご覧いただければと思います。

ユニバーサルデザイン推進会議につきましては、毎回、推進会議を３回実施させていただいております。お手元の資料３にございます第２８回、第２９回、第３０回、この３回のユニバーサルデザイン推進会議を行います。今回は第２８回のユニバーサルデザイン推進会議になります。

その後、委員の皆様には、令和２年度実施事業の自己評価、報告書の確認、事業の評価を、この後５月の末から７月の頭ぐらいまでの間に実施していただきます。その後、事務局のほうで取りまとめをさせていただきまして、その後８月頃、第一評価部会、第二評価部会を開催させていただきまして、実施事業の評価をいただきます。その後、取りまとめをさせていただいた後、令和３年１０月頃、第２９回の推進会議を開きたいというふうに考えています。その中で評価部会で評価していただいたもの、それをまとめた報告書をご承認いただきまして、庁内の調整を経て１１月頃公表させていただきたいと思っています。その後、第３０回の推進会議につきましては、３月頃実施を予定しております。

昨年度も同じような形で進めさせていただいておりましたが、新型コロナウイルスが春先流行したということがありまして、全体的に２～３か月遅れて実施しておりました。本年度も今現在新型コロナウイルス緊急事態宣言ということで、なかなか実施をする、事業の評価をいただくというのは難しい状況ではあるのですが、一番感染が落ち着くであろう夏頃を、なるべく評価部位の実施時期にしたいと思っておりますので、今のところは８月の予定でございます。なので、８～９月のいずれかのタイミングで評価部会を開催したいと考えています。

なお、今回の会議のように、緊急事態宣言等々がございまして、感染拡大ということが不幸にもあった場合は、ウェブ会議、通常会議の併用で会議を実施したいと考えています。事務局の説明は以上になります。

○八藤後会長　ありがとうございました。今後のスケジュールにつきまして説明がありましたが、委員の皆様方のほうで何か質問、ご意見などがありますでしょうか。今日初めて来られている方もいらっしゃるので、何のことかよく分からないというところもあろうかと思いますけれども、どうぞ遠慮なさらずにお聞きいただければと思います。いかがでしょうか。

○上野委員　この自己評価というのはどんなもので、この内容の中から評価するのですか。

○白勢ＵＤ担当係長　この後、評価の内容、評価をどのようにするのかというのは、後ほどご説明させていただきたいと思うのですが、我々のほうで、区で実施しているユニバーサルデザインに関係する事業の前年度のもの、実施したものの評価を自己評価、我々の所管課がやっている自分たちの事業に対する評価の報告書を資料４、５で作ってお渡しする予定だったのですが、委員の皆様が後ほどご説明する資料に基づいて５段階評価でチェックをしていただいて、それを我々のほうで取りまとめて、後ほど皆さんに評価部会で参加していただくのですが、その評価部会で評価をしていただくというような形になっています。

○上野委員　その評価は、その場でやるのですか。

○白勢ＵＤ担当係長　いえ。実施事業がすごく量が多いので、その場ではなくて、お持ち帰りいただいて、ご自宅で評価をしていただいて、その後、評価部会はこちらの会場で一つ一つの施策を委員の皆さんが集まってご議論していただきながら評価点を決めるものなので、そういった２つのステップを通して評価をしていただくということになります。

○上野委員　それは数字か何かで、パソコンか何かでやるのですか。

○白勢ＵＤ担当係長　いえ。パソコンを使え

る方、使えない方がいるのは十分承知しているので、紙ベースのものとデータベースのもの、両方お送りさせていただきたいと思っています。
○上野委員　パソコンは多少やるのですけれども、送ってもらってもいいわけですね。
○白勢ＵＤ担当係長　はい。委員の皆様が使い勝手のいい形で作成していただいてご提出していただければ、それに合わせて我々のほうは事務処理をさせていただきたいと思っています。
○上野委員　分かりました。ありがとうございます。
○安岡ＵＤ担当課長　上野委員、ありがとうございました。
○八藤後会長　ありがとうございます。いろいろと疑問点はあると思いますので、私もその内容を確認できましたので、こういう質問をしていただいて大変ありがたかったと思います。
　皆様、ほかにございませんでしょうか。会場のほう、よろしいですか。
○安岡ＵＤ担当課長　会場のほうは結構でございます。
○八藤後会長　では、先に進めさせていただきたいと思います。

報告・承認事項（３）令和２年度実施施策・事業の自己評価結果について
○八藤後会長　それでは、（３）令和２年度実施施策・事業の自己評価結果について、事務局から説明をお願いします。
○白勢ＵＤ担当係長　ちょっと不具合がありまして画面共有ができない状況なので、大変申し訳ないのですが、委員の皆さん、お手元の資料をご確認いただければと思います。
　（３）令和２年度実施施策・事業の自己評価結果についてです。先ほど我々のほうからおわびをさせていただきましたとおり、関係する資料４、資料５につきましては、まだ作成中でございます。大変申し訳ありません。その資料４、５に基づいて、昨年度、令和２年度に実施した事業に基づいて評価をしていただくところになります。
　資料６をご覧いただきたいと思います。資料６「令和２年度実施事業」の評価方法及び分類基準というタイトルでございます。１番目の評価方法は割愛させていただきますが、２番の個別施策評価の進め方についてということで、こちらのフロー図がございます。ユニバーサルデザイン推進計画の年次計画に基づいて、各区役所の所管がユニバーサルデザインに関係する事業を実施しております。所管課の自分たちが評価をまとめまして、我々のほうでまとめたものを資料４、資料５という形でご提供させていただきます。
　その後、フロー図の３つ目、評価対象事業の選定（外部ｏｒ内部評価の仕分けを含む）を今日選定していただきます。その後、この会議の終了後、委員による事前評価ということで、先ほどご説明するとお話をした事前評価をしていただきます。その後、今予定しております８月頃、内部評価、外部評価ということで第一評価部会、第二評価部会を開催し、委員の皆さんに部会の中で評価をしていただき取りまとめをさせていただきます。
　フロー図の下から２番目、評価承認〈推進会議〉とありますのが、第２９回推進会議での評価承認の手続になります。その後、議会報告公表とありますが、それが１１月の公表という形になっております。
　なお、評価方法及び資料６の裏面、３番の評価分類基準等については、後ほど改めてご説明させていただきたいと思います。事務局からは以上でございます。
○安岡ＵＤ担当課長　簡単に言いますと、足立区のほうでユニバーサルデザインの施策を３１施策行っております。いろいろな部署があるのですけれども、道路部門とか事務局部門とか、そういったいろいろなユニバーサルデザインの区の施策について、委員の皆様方で５点評価、要するに通信簿をつけるみたいに、この施策はここまでやったとか、区役所の担当所管から「こういうことをやりました」という報告書を出しますので、それについて５段階で評価していただく形になります。簡単に言いますと、そういった形になります。
○白勢ＵＤ担当係長　事務局の説明は以上になります。すみません。端末が全体的にフリーズをしまして、画面が今動かない状況です。少々お待ちください。
　全体が今フリーズしまして、会場のほうのタブレットがフリーズをしました。すみません。恐らく途中の説明で途切れてしまって申し訳ないので、事務局から先ほど説明させていただいたのですが、大変申し訳ないのですが、会場の皆さんは説明の内容はご理解いた

だけたでしょうか。分からないという場合は、大変お手数なのですが、バツをしていただいて、聞こえているということであれば、マルをしていただきたいと思います。大変申し訳ありませんが、聞こえますでしょか。
○八藤後会長　「大変申し訳ありませんが、聞こえますでしょうか」というのは聞こえましたが、その前がちょっと途切れ途切れだったのですが。ただ、どういう説明をされたのかというのは何となく分かります。このまま進めてよろしいでしょうか。それとももう一度、課長さんから説明をいただいたほうがよろしいでしょうか。
　と聞かれても困ると思うので、私のほうで。すみませんが、課長さんのほうでもう一回、さっと説明していただけませんでしょうか。
○安岡ＵＤ担当課長　分かりました。
　今回の評価方法なのですけれども、足立区のほうでユニバーサルデザインについての施策がございます。厳密には３１施策あるのですけれども、それを担当所管のほうから報告書として出していただきます。担当課のほうでこういったものをやったとか、いろいろ所管がございます。それについて委員の皆様で５段階の評価をしていただく、簡単に申しますと、そういった形でお願いするという形になっております。簡単な説明でした。以上でございます。
○白勢ＵＤ担当係長　すみません。もう一回いいですか。
○安岡ＵＤ担当課長　もう一度説明させていただきます。
　今回、ユニバーサルデザインの施策を足立区のほうで３１施策、区役所の各所管で行っておりまして、その説明について委員の皆様で５段階の評価をしていただく。表現が適切かどうかあれなのですけれども、通信簿みたいにつけていただくという形になります。簡単に申しますと、そういった評価という形になります。簡単ですけれども、説明は以上となります。ウェブの方も聞こえましたでしょうか。
○八藤後会長　ご説明は終わりましたか。
○安岡ＵＤ担当課長　はい。説明は一応終わりました。
○八藤後会長　ありがとうございました。皆さんから、ちょっと途切れて分からないとか、そういうことも含めてで結構でございますが、ご質問などございますか。よろしいですか、この件については。
　資料４と５が今日は来ていないので、何をやるのかという心臓部がちょっと分からないのですが、後の資料で説明があると少し分かるのではないのかなと思いますので、その後でまた質問していただいてもよろしいかと思います。よろしいでしょうか。そのまま進めさせていただいてよろしいですか。
○白勢ＵＤ担当係長　会場のほうは問題ございません。
○八藤後会長　よろしいですね。では進めます。

審議事項（１）令和２年度実施施策・事業の外部及び内部評価の実施について
（２）評価部会における委員と施策・事業の振り分けについて
○八藤後会長　それでは、審議事項に入ります。（１）令和２年度実施施策・事業の外部及び内部評価の実施について、（２）評価部会における委員と施策・事業の振り分けについて、この２つを事務局から説明願います。
○白勢ＵＤ担当係長　今説明させていただく資料になりますが、まず資料７－１と７－２をご覧いただければと思います。
　資料７－１の左側、Ａ３横開きの資料の真ん中から左側、「施策番号」「施策名」「所管課」と書いてあります。左の１－（１）－①から４－（３）－①まで全部で３１施策ございます。その施策に関係する所管課が「所管課」という項目に書かれています。
　その所管課の評価というのが資料７－２になります。資料７－２には、「施策番号」「施策名」が書いてありますが、平成２６年度から昨年度、令和元年度までの５段階評価の評価点が書かれています。一番下のところには、全部の点を平均化した平均点が書かれております。令和元年度につきましては３．８７点ということで、これは皆さんの評価部会の中での評価していただいた５段階評価を平均した結果になります。
　これから委員皆さんにご審議いただくのは、戻っていただいて資料７－１、この３１施策のうち外部評価委員会、第一評価部会、第二評価部会の２つの部会の中で評価していただく施策はどれになるのかというのを議論していただきたいと思っています。資料７－１の右側の項目のところ、右から２番目、「評価候補」と書かれているところに丸印が

何個かされていると思います。２６年度から昨年度、令和元年度まで評価していただいた結果を踏まえて、事務局のほうでこちらはいかがかということで候補として挙げさせていただいているものです。丸をした数が一番下に書いてあるのですが、１６施策になります。それを第一評価部会、第二評価部会で分けていただいて決めていただければと考えています。

繰り返しになりますが、あくまでもこれは事務局のほうでご提案させていただいた評価候補です。例年、こちらの評価候補と関係ない別の候補を挙げていただいて、最終的に施策を設定していただくこともございます。あくまでもこれは、我々が今回の推進会議の中でご議論いただくたたき台として出させていただいています。

その評価方法の根拠となるのが、評価候補の左側の丸印になります。昨年度評価していただいたものの部分を、左から２番目の「評価実施　昨年度」というところに丸をしています。昨年度は委員の皆様に２１施策の評価をしていただいているところでございます。

これら施策の評価を実施する上で、皆さんに施策を選んでいただいた後、資料9、ユニバーサルデザイン推進会議評価部会名簿（案）とあります。こちらは昨年度実施させていただいた評価部会名簿をもとに、配置させていただいております。こちらの部会の名簿も、あくまでも我々事務局の案になります。第一評価部会、第二評価部会の名簿を記載させていただいておりますが、移っていただくということも可能でございます。この第一評価部会、第二評価部会のいずれかで、先ほど申し上げた資料７－１で決めていただく３１施策のうちの施策数を振り分けていただきたいというところであります。

委員の皆さんで振り分けていただかなかった施策、３１施策のうちの残りの部分になりますが、そちらについては我々区職員で構成する内部評価部会で評価をさせていただきたいと思っています。

そうした内容が書かれているのが、先ほどご説明をさせていただきました資料６になります。資料６の１番、評価方法をざっと説明させていただいたところでございます。

委員の皆さんで評価していただく評価の数ですが、評価方法の⑥をご覧いただきたいのですが、「上記部会で評価する施策の数は、各部会８施策、合計１６施策とする」と書いてあります。こちらも１６施策としていただきたいということで、昨年度はもう少し見たいということで２１施策見ていただきました。本年度についても、１６施策にこだわらず増やしたり減らしたりということは可能でございますが、昨年度の評価部会の流れからいくと、１８施策以上やってしまうと、かなり評価部会の時間が押してしまいまして、委員の皆様にはご迷惑をおかけしてしまっているので、できれば１６施策～１８施策の間、１６、１７、１８のいずれかの施策で評価をしていただけたらなと考えてございます。

この後、皆さんのほうからご議論をいただきたいと思いますので、その際またご質問等があれば、事務局からお答えさせていただきたいと思っています。

評価の候補が決まりましたら、その評価をどのようにしていただくのかというところについては、資料８、資料１０の２つでご説明を改めてさせていただきたいと思います。事務局からの説明は以上になります。

○八藤後会長　ありがとうございました。説明の中でも「内部評価」とかいう言葉が出てきましたけれども、初めての方は、この内部評価と外部評価の違いがよく分からないのではないかなというのが１つと、なぜ評価を内部評価と外部評価に分けたのかという点を、新しい人もいらっしゃいますので、再度ご説明いただけませんでしょうか。

○白勢ＵＤ担当係長　まず内部評価、外部評価をなぜ分けたかというところでございます。

我々、内部評価部会として部長級の職員で構成させていただいております。先ほど申し上げたユニバーサルデザインの施策は、区が実施する施策でございます。当然ながら、区の職員が評価するということで、恣意的なものは発生しないのですけれども、あくまでも同じ組織の中での評価となりますので、なるべくであれば委員の皆さん全員で評価をしていただきたいというところなのですけれども、３１施策を委員の皆さん全員でご議論いただくと、時間とご足労、いろいろなご迷惑をかけてしまうということで、内部と外部に分けさせていただいたという経緯がございます。

なお、内部評価の部会に関しては、まず委

員の皆様が構成される外部評価部会、第一評価部会と第二評価部会で評価の候補から外れたものを、我々のほうで内部評価として評価をさせていただくという構成にさせていただいたところで、こういう役割分担をしているというところになります。事務局からの説明は以上になります。
○八藤後会長　今説明がなかったのですが、私たち委員で構成される評価部会のことを「外部」と言うわけですよね。
○白勢ＵＤ担当係長　そうです。
○八藤後会長　ということでございます。ほかにも何か疑問点とかご意見等ありましたら、これは今日のメインの議論になります。そういうことですので、ご不明な点は今聞いていただければというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。
　この先の説明があるとまた少し、ああ、そういうことだったのかということにもつながるかもしれませんので、また後で包括的な質問、ご意見を伺いますので、まずは先に進めさせていただいてよろしゅうございますか。
○白勢ＵＤ担当係長　はい。
○八藤後会長　また後で戻る可能性もあるということで、先に進めたいと思います。
　それでは、早速なのですけれども、資料７－１の一番右側の評価候補、これはつまり外部委員、私たちが評価する施策の候補として、こういうのにまずは事務局案として丸をしていただいたと。それについていかがなものでしょうかというのが、この議論の的になります。なぜこれに丸をしたのかという根拠は若干説明がありましたが、また不明の点は聞いていただければと思います。
　それでは質問なりご意見なり、自由に交わしていただきたいと思います。いかがでしょうか。手を挙げるというか、お声を発声していただくと、いろいろな方法がありますので、どうぞ。それから会場に関しては事務局のほうで、どなたか挙手があったかどうか私に教えてください。
○白勢ＵＤ担当係長　了解いたしました。画面のほうは、委員の皆さんが映るような形でレイアウト配置をさせていただいております。ご質問があれば手を挙げていただければ対応できるようになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
　事務局から１つだけ補足させていただきます。
　丸をしてある表の左から２番目の昨年度の評価実施の項目です。昨年度、評価をしていただいた評価項目は例年より２、３多いのですが、その例年より２、３多かった施策につきまして、それを今外しています。その具体的な施策は、３－（１）－①「安全な道路環境の整備」、３－（１）－②「歩行者空間の確保」、３－（４）－②「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」の３つを外させていただいております。それと３－（２）－②「区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進」及び３－（２）－③「区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進」、合わせると５個を今回は外させていただいております。それ以外につきましては、例年この１６施策を基本的に評価していただいているというところで、新しい委員の方もいらっしゃるので、そういった評価候補として挙げさせていただいているところでございます。補足の説明は以上になります。
○八藤後会長　ありがとうございます。去年のことを思い出すと、この数は外部委員がやる数にしてはぎりぎりかなという、これ以上増えるとちょっと負担が大きいし、会議の時間も長くなるというご配慮があったかと思います。
　ということで、どんなに多くても昨年度の丸の数を超えないという一つの目安はあってもいいのかなというふうに、これは私の意見というほどでもないのですが、目安として申し上げたいと思います。という上で、去年の評価ではあったものが今年の評価候補からは抜かされているというものについて、項目を教えていただきました。もちろんこれは評価をしないということではなくて、区役所内の内部評価委員にお任せするという解釈でございます。
　ということで、引き続きご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。
○中村委員　障がい福祉推進室長の中村でございます。
　先ほど説明いただいた資料の裏面に書いてあるものを見ていたのですが、６の資料の裏面の３に分類基準という形であるので、これに沿って分類なさったのかなというふうに思ったのですが、もしそうだとしたときに、昨年度評価した中で、７－２の資料を見ると、赤い文字で３という評価をされている事業

が４つあると思うのです。その中で見たときに、３－（４）－②「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」という３の評価だったものが外部委員から漏れているのですが、３の分類基準と今回の選定とで、その辺のずれがある点はどういうふうに考えたらいいのでしょうかという質問なのですが。よろしくお願いいたします。
○白勢ＵＤ担当係長　基本的には中村委員がおっしゃっていただいたとおり、この資料６の裏面の③の分類基準に基づいてこれまでも選定していただいたのですが、昨年度、実はこの選定基準に基づいてやったところ、委員の皆さんがご希望される施策が候補から外れてしまうという事態が起きました。我々としては、委員の皆さんが評価したい施策について評価をいただければと考えてございますので、「基準」というふうに書いてあるのですが、この基準をベースにして委員の皆さんで選んでいただくというところを軸としております。

ただ、委員ご指摘のとおり、３－（４）－②については、確かに昨年度評価は３点ということで、今回、候補としては丸をしなかったのですが、民間建築物のユニバーサルデザインに関して、なかなか事業数が少なくて、前回の評価の中ではなかなか評価がしにくいというところで３点になっております。今年度も引き続き、恐らくコロナ禍ということで民間建築物が多く出ていないであろうというところの中で、候補としては外させていただいたのですが、今回のご議論の中で、やはり３点だから入れたほうがいいんじゃないかというお話であれば、我々としてはぜひ入れていただければと考えてございます。以上になります。
○八藤後会長　今説明がございましたけれども、皆さん方いかがでしょうか。
○白勢ＵＤ担当係長　会場の金子委員からご質問がございますので、よろしくお願いいたします。
○金子委員　今、中村部長さんがおっしゃっていたところの「民間建築物のユニバーサルデザインの推進」ですが、区立とか公的な部分の建物なんかは、私は点検させていただいて大分よくなっているんですよね。そしてまた、公的なものですから、言われたほうの例えば区の担当にしても、基準があればそれを守らなくちゃいけないというふうになって少しずつ改善されているんですけれども、民間建築物がどうしても、なかなかこちらから入っていけないみたいな、例えばいろいろ点検とかするのに区側からなかなか入りづらいみたいな、こちらから協力を仰ぐ立場だからということなんでしょうけれども、でも公的な建物より民間の建物のほうが多いですし、そういうところで身近な車椅子の障がい者とか視覚障がい者とか聾者の方が、やはり安心して入れるように改善してもらいたいなと常々思っているのですよね。そういう意味では、私なんかも３でいいじゃないかということで評価したのですけれども、これはもうちょっと継続的に、民間の所有主とかオーナーとかの理解も得るという意味でも、ここはまた載せてほしいんです。ちょっと長くなりました。
○八藤後会長　ありがとうございました。３（４）－②「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」を入れたらどうだということで今ご意見がありました。

私もちょっと事務局の説明で気になったことがありまして、コロナ禍において、なかなかこれを挙げていくのが難しいのではないかというようなご説明がありましたが、そういうことがないようにしていただきたい。こういう社会情勢の中で、民間建築物のユニバーサルデザインを誘導するのに、今までと同じやり方では多分駄目だろうなと。ではこれからどうするという、あるいは去年どうしたという、そういうところをやはり積極的に見たいという感じがありますので、私としましても、ここはぜひ、このコロナ禍においてどういうことで攻めていってくれたのだろうかというところを、ぜひ評価したいなというふうに思っております。

皆様方の意見もどうぞ。ほかのものに関してもどうぞ。この件でもいいです。

では、特になければ、事務局案の中から３－（４）－②「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」を外部委員の評価候補に入れるということで、まずはよろしゅうございますでしょうか。――ありがとうございます。
○安岡ＵＤ担当課長　今会長から、３－４－②について委員の皆様で評価していただくということでご提案がありましたが、その件について皆様どうでしょうか。

皆さん、うなずいていらっしゃいますので、会場のほうは了承するという形になりまし

た。
○八藤後会長　ほかについても事務局案でよいという解釈でよいのか、ちょっと分からないのですが……。資料８とか１０は、いつ説明されるのでしょうか。
○白勢ＵＤ担当係長　８と１０に関しては、評価していただく施策を決めてからご説明させていただければと考えています。
○八藤後会長　この後、説明するということですね。
○白勢ＵＤ担当係長　はい、そうです。
○八藤後会長　今の審議を棚上げにして、その説明をしていただけませんでしょうか。ちょっと順番を狂わせて申し訳ないのですが。そのほうが今の審議に対して新たなご意見が出るかもしれないので。
○白勢ＵＤ担当係長　了解いたしました。
○八藤後会長　委員の皆さんもよろしいですか、そういう進め方で。では、お願いします。
○白勢ＵＤ担当係長　ありがとうございます。会場のほうもご了解いただいておりますので、そうしましたら資料８と資料１０のご説明をさせていただきたいと思います。

資料８は、資料４と５がないとご理解いただけるところが少ないかと思うので大変申し訳ないのですが、資料８をまずご覧いただきたいと思います。

資料８を施策ごとにまとめたものが資料１０になります。この資料１０は、この後我々のほうでお配りさせていただきます資料４、５をベースに、これから説明する資料８の要領に基づいて、委員の皆様がそれぞれ評価していただく用紙になります。

先ほど上野委員からご相談いただきましたとおり、こちらは今、紙ベースでお渡ししているものがございますが、それ以外にも必要とあれば、これはワード形式で作っておりますので、ワードのデータをお送りさせていただきます。後ほど資料４と５をお渡しする際に、一緒に返送先のメールアドレス等もお送りするのですが、ご記入いただきましたら、そちらをご返信いただきたいという資料でございます。当然ながら、パソコンではなくて手書きで書きたいという委員の方々は、手書きで書いていただきましたら、一緒に返信用封筒もつけさせていただきますので、その返信用封筒でご返送いただければと思います。

資料８の説明に戻らせていただきます。施策評価シートなのですけれども、資料４、資料５の中で、令和２年度に実施した事業を我々足立区役所の中で取りまとめたものを見ていただきます。１ページ目のところ、真ん中の部分で星印があります。前年度の委員意見ということで、昨年度、評価部会の中で出た意見を記載させていただきまして、その上にあります年次計画、区が実施する事業の概要、こういった概要に基づいて令和２年度に各所管が施策、事業を実施しているものを評価していただきます。

なお、令和２年度の実施結果につきましては、星印の下、実施結果Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４つの項目に、各事業課が記載しているところでございます。

資料１０をご覧いただきたいと思うのですが、資料１０の一番最初のところ、「ひと」１－（1）－①「ユニバーサルデザインの普及啓発」がございます。資料８の１ページ目の実施結果のＡの項目、「実績・ＵＤとして実施したこと」というＡの項目を評価していただくのが資料１０の「実績に対する講評」、一番上の部分になります。こちらを項目別に見ていただき、５段階評価をしていただきます。続いて、資料８の項目Ｂが資料１０の「効果・達成状況の講評」になります。続きまして、「今後の課題・方向性」、資料８のＤの部分、こちらが資料１０の「今後の課題・方向性への講評」となります。Ａ欄、Ｂ欄、Ｄ欄の部分を資料１０のところで５段階評価をしていただき、Ａ、Ｂ、Ｄの総合評価として、総合点という形で５段階評価をしていただきます。

その内容が書かれているのが、資料８の２ページ目以降になります。先ほどご説明させていただいたとおり、「実績」に対する講評」であればＡ欄、「効果・達成状況の講評」に対するものはＢ欄、「今後の課題・方向性」に対する講評についてはＤ欄の項目に合わせてご評価いただければと思っています。

なお、その他の項目であったり、質問事項、資料要求等々記載事項がございますが、それはこの後お配りする資料４、資料５を見ていただいて、その中で疑問点であったりとか、これはちょっと聞いてみたいという点がございましたら記入をしていただくものでございます。

その後、「評価部会でのヒアリングを希望

する所管課名について○をしてください」という項目がございます。当然ながら、施策を振り分けたときには、該当する所管課の部分ところには全部の所管課に来ていただくということで考えているのですが、その中で特に話を聞きたいという所管がございましたら、そちらを丸していただければと思います。

なお、この評価につきましては、実は昨年度も委員の皆さんは３１施策を全部評価していただいたところではあるのですが、かなり委員の皆さんにとってはご負担が大きい作業になります。全部の項目に対してＡ欄、Ｂ欄、Ｄ欄の講評を一つ一つ書くとかなりの時間になるということは、前年度の委員の皆さんからもお聞きをしているところでございます。なので、実際にご自身が携われていないところであったりとか、資料４、資料５を読んでもなかなか評価が難しいという項目がもしございましたら、そういったところは評価いただかなくても結構でございます。ただ、１つだけとか２つだけというのは勘弁していただきたいと思いますので、なるべくなら５段階評価の評価点だけは、できれば全施策していただければありがたいなと思っています。質問事項や講評に関しては、それぞれ委員の皆様のご専門とされている部分、利用者としての目線、専門家としての目線等々がありますので、その目線に合わせてご講評をいただければと考えています。

繰り返し、もう１点追加事項がございます。この５段階評価ですが、委員の皆様の５段階評価は、我々のほうで取りまとめをさせていただいて、評価部会前に平均点と中央値の２つを提示させていただきます。その平均点が先ほど申し上げた資料７－２の評価点に、そのまま直結する点ものではございません。皆さんの評価を集計させていただいた結果を踏まえて、評価部会で改めて評価をしていただきます。

昨年度まで委員をやられていた方はご存じだと思いますが、実際に平均点が３点だったけれども、評価部会で話を聞いて４点になったケース、その逆で、平均点では４点になったけれども、評価部会では結果的には３点になったという施策、それぞれございます。

委員の皆さんで評価していただくこの５段階評価は、あくまでも皆さんの目安になります。何もない状況から評価部会で５段階評価をつけるというのはなかなか難しい作業でして、いろいろご迷惑、ご足労をおかけしてしまうということがありますので、皆さんの目安ということで集計をさせていただいております。資料８、資料１０の説明は以上になります。

○八藤後会長　ありがとうございます。丁重に説明いただいたわけですけれども、実際にやってみないとなかなか分からないよというところはあるかもしれませんが、結局外部委——つまり我々です——が評価するという項目になった施策については、資料１０のようなものに記入して、我々一人一人が提出する必要がある、そういうふうにご理解いただければと思います。

ちょっと今の話を聞いて、私から事務局に提案なのですけれども、一回でもやったことがある人は大体分かると思うのですが、今回初めての方もかなりいらっしゃいますので、例えば去年の評価部会のときに配られた皆さんの意見をまとめたもの、あれをダイレクト初めての方に渡すということが難しいのであれば、その一部分だけ、もしくは多少サンプルとして改ざんしていただいて結構でございますので、こんなふうに委員の人は書いているよというようなサンプルのイメージをぜひ送って差し上げると、こういうことを書いたり、こういうことを言えばいいんだなと。改ざんではないですね、調整ですね。失礼いたしました。言葉遣いには気をつけないといけないですね。サンプルですから、あくまでも。そういうものを作っていただくのもよろしいのではないのかなと思います。その辺、事務局としては可能でしょうか。

○安岡ＵＤ担当課長　資料８の場合なのですけれども、具体的にイメージが湧かないと思いますので、資料４と５は今回大変申し訳なくて出せなかったのですが、どういったものを出すかといいますと、「ユニバーサルデザインの普及・啓発」というのはどういった事業をやっているかといいますと、具体的にはユニバーサルデザインの講演会というものとパンフレットを作成し配布するという事業があります。これを写真つきで、「こういった講演会をやっています」という資料を資料４、５でお送りします。資料４、５はお配りできなかったのですけれども、こういった写真つきの具体的に分かりやすいものと主管課、「ユニバーサルデザインの普及・啓発」は当然うちの担当課でやっているのです

けれども、こういった説明をやって、今回こういった効果がありましたという具体的な報告書をお出しします。

今、私は古いものを持っていますので、評価委員からどういった評価があるというのを申します。前年度の評価委員の意見なのですけれども、１－（１）－２「ユニバーサルデザインの普及・啓発」についてですが、「計画どおりに講演会が実施されており、一定の参加者数を達成している点は評価できる。一方、誰を対象とするのか、どのような狙いで実施する講演会であるかを改めて検討設定され、その狙いのもとにテーマや実施時期、広報などを展開していただきたいと思う」。次にパンフレットについてですけれども、「１年間で配布するパンフレットが７００部だけというのは区民全体から考えると少ない。多くの区民にパンフレットが配布できるような工夫を検討していただきたい」、こういった意見があった。こういった報告書を見ていただいて５段階の評価をしていただく。具体的な事業は３１施策あるのですけれども、そういったものを評価していただくということになります。以上でございます。

○八藤後会長　どうもありがとうございます。冒頭音声が途切れたのですが、資料１０の記入例のサンプルを配ると、特に初めての方には。それについては事務局はご了承いただけますか。

○白勢ＵＤ担当係長　事務局同士で意見の言い合いで大変申し訳ないのですが、昨年度同じように新型コロナウイルスの関係で、そのサンプルを作ってございます。先ほど課長から説明があったとおり、「ひと」１－（１）－①「ユニバーサルデザインの普及・啓発」の項目で、昨年度の評価をしていただいたときの資料４と資料５と資料１０を１枚つけさせていただいて、当然個人等が特定されないような形でサンプルを作って、それをベースに評価をしていだたければ初めての方も、実は毎年評価していただいている方も、最初はどうだったか忘れてしまうというお話もちらほら聞いておりますので、そのサンプルをこちらのほうからご提示させていただきたいなと思っています。その上で、それをもとにご評価いただければ分かりやすいのかなと思いますので、そのサンプルは、こちらのほうで資料４、５を配る際に作ってご提示したいと思います。

○八藤後会長　ありがとうございます。私がちょっと失念していることもあったのかもしれませんが、ぜひよろしくお願いいたします。

ということで、これの書き方とかそういうことは、いずれ詳しく文書で送ってくるのだということなのですけれども、今日のメインの議題であります審議事項（２）評価部会における委員と施策・事業の振り分けについてに話を戻していきたいと思います。

先ほどの途中までの議論では、「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」については、ちゃんと外部委員でしっかりやったほうがいいんじゃないかなということで一応決まりかけたということなのですが、ほかにも何かご意見等ございましたら、改めて議論を続けたいと思います。どうぞ。

○渡部委員　資料７－２を拝見しまして、３－（３）－③「イベント会場等のユニバーサルデザインの推進」は新規施策であるのですが、昨年は内部で審査していただいたということで、もう一つの新規施策は２－（２）－②になるのですけれども、こちらは外部で点をつけさせていただいて、なので新規施策がもしできるのであれば、今年は外部でさせていただけたらなというふうに感じました。特に「イベント会場等のユニバーサルデザインの推進」という部分はすごく興味深いと思いましたので、昨年は内部だったところで、今年は新しく外部でできたらいいなというのが１点です。

そうすると、どんどん外部のポイントが増えてしまうので、何か逆に減らせるところはどこかと思った次第ですが、１－（１）－①とか１－（１）－②辺りは去年も外部でやっているので、今年は外してもいいのではないかと感じました。

○八藤後会長　ありがとうございます。外してもいいかなというものまで併せてご提案いただきましてありがとうございます。３－（３）－③「イベント会場等のユニバーサルデザインの推進」につきましては、皆様いかがでしょうか。これは入れたらいいのではないのかなというようなことで。昨今、特に今年になってから、このイベント会場って、このコロナ禍において、いろいろと議論になっていますよね。そういうのとこのユニバーサルデザインをどう両立させるのか、させたのかという辺りも、今のお話を聞いて、私は別

の意味で興味があります。ということで、これを外部委員として初めてやってみてはいかがかなということが１点。

そして、私としては、この１つを加えるぐらいでは、そんなにご負担が増えることはないので、ご提案いただいた２つについて、特に削除しなければいけないというものはないのですけれども、ただ、これは内部に任せるというふうにしてもいいのではないかなという一つのご意見かと思っております。これも含めて、何かご意見があれば伺います。

○内田委員　私も、そのイベント会場等は非常に興味があるのですが、去年１年間、イベントって行われたのですかね。それを確認して、全くイベントが行われていないという状況だとどうするのかなというのが気になったのです。もしやっていないとしても、どういう計画を立てていたのかがあれば評価に値すると思います。

○八藤後会長　ありがとうございます。事務局のほうでもし把握していらっしゃいましたら、イベントの件はいかがでしょうか。

○白勢ＵＤ担当係長　イベントにつきましては、内田委員がご指摘のとおり、コロナの感染拡大防止という観点で行っていないイベントが、特に大きなイベントは多いです。その場合、実施の評価ができないのではないかということで所管課から相談があったのですが、基本的には実施しなかった理由と今後どうしていくのかということは記載するようにというお話をさせていただいていますので、申し訳ないのですが、具体的に何かというところはちょっと申し上げられないのですが、そういった面では今後どうしていくかというところの観点からご評価いただくというのは可能かなと思います。

ただ、実は今年度につきましても、足立の花火が中止になったりとか、大きなイベントが今の感染状況を踏まえて少しずつ中止・延期等々が発生しておりますので、昨年度の評価に基づいて、所管課が今年度どうしていこうかというふうに考えた結果が、そのまま今年度の施策に反映されるかというと、ちょっと今の感染状況を見ると、なかなか難しいかなというところです。なので、評価していただくのは非常にありがたいところなのですが、委員の皆さんがお考えになっているような今後の方針になっていないかもしれないというところは、ご了承いただけたらなというふうに考えています。

○八藤後会長　ありがとうございます。

○山田副会長　個人的なあれですけれども、やはり状況が状況ですので、こちら側の委員でいろいろなことを考えても、なかなか現実的にそれが難しいというようなこともあろうかと思います。区の内部のほうで、各種内部状況ですとか状況に鑑みてご覧いただいたほうが、今年度はよろしいのではないかなと思うところです。逆に私たちはもう少し状況が落ち着いたところで、将来につながるような意見をお伝えできると双方いいのかなと思います。

○八藤後会長　ありがとうございます。実際に実施されているものが少ないのではないかというのと、いつもの年とかなり違うというところがあるので、また改めて外部委員としては評価の機会を別のときに設けてもいいんじゃないかと、そういうことですね。いかがでしょうか、皆様方。

１つ、これをもし入れるならという前提で、上の２つを削除対象としてもいいんじゃないかというご提案もございましたが、もしこのイベント会場を新たに入れるということがなければ、これはこれで復活するというか、このまま外部委員会の評価対象にしておくということでよろしいでしょうかね。

どうぞ、そういうことも含めて、あるいは別のことでも結構ですが、ご意見があれば。

○白勢ＵＤ担当係長　すみません。会場のほうから意見がございます。

○永野委員　僕は今回初めて参加させていただいて、この資料７－１、７－２を見て、正直よく理解できなかったのですけれども、細かく目を通していくと、平成２６年度から始まったこの評価点、３点、４点とかあるのですけれども、３点があるところが全部外部の部会の印がついてあって、なおかつ平成２６年度から横で見ていくと、例えば１－（１）－②とかは４点、３点、３点、２点、４点、３点と、平均で見ると、こういった３点とか１点とか低い点数が多いところというのは重点的にやったほうがいいんじゃないかなみたいな、そういう判断でいいんですかね。

○白勢ＵＤ担当係長　先ほど中村委員からお話があったとおり、もともとの分類基準としては、評価をしていただいて、なかなか難しい評価が低いような施策を様々な委員の皆さんの視点からご評価いただいたり、ご提

案いただくことがいいんじゃないかということで、３点以下の施策を選んでいただいているというような状況です。

ただ、評価の点数の構成の仕方も、実は各年度年度で少し考え方が変わっております。平成３０年度までが旧の推進計画に基づいて実施させていただいておりました。昨年度の令和元年度から新しい施策、ユニバーサルデザイン推進計画のオレンジ色の冊子で新しくやったものになるのですが、その施策の中で５点の評価の取扱いの仕方が、簡単に言うと少し厳しくなったというところです。新しい推進計画になって、ユニバーサルデザインもいろいろ周知されている中で、５点の評価をしてしまうと、そこであぐらをかいてしまうおそれがあるというのは今までもあったのですが、当然ながら単年度の評価ではなくて、もうユニバーサルデザインが周知されている以上、永続的に長い目で見て、この施策をずっと継続していけばいいんじゃないかという項目に限って５点にしようというような話で、令和元年度は５点の評価がなくなって３点と４点になったと。そのかわりに３点の評価のやり方も、単年度ではなくて継続的に見てまだまだ改善点があるんじゃないか、４点に比べればもっと改善点があるんじゃないかというところで３点になっています。なので、２６年度から３０年度までと令和元年度からこの先に関しては、少しニュアンスが変わっているというところは、ご了承いただけたらなと思っています。その中で、あくまでも一つの基準となるのは、５段階評価の真ん中の３点というところが、評価していただく一つの基準であるというところは変わらないという考えでいます。

○八藤後会長　よろしいですか。今のご質問になるのでしょうか。会場の様子が分からないのですが、進めてよろしいですか。

○永野委員　時間のないところ申し訳ないです。３点と４点の優先順位みたいな考えではないということなのですか。

○白勢ＵＤ担当係長　優先順位というところではなくて一つの基準になりますので、当然ながら、４点でも外部委員の皆さんが評価したいというところは評価いただきたいと思いますし、昨年度の経緯を踏まえて、例えば３点でも、昨年度ある程度評価をさせていただいて、その状況を見定める時期が必要だということで、じゃあ今年は別の評価を見ようということで内部のほうに任せて、ほかの施策の外部評価をするということもあります。あくまでも基準なので、絶対この３点以下は必ず外部評価でやらなきゃいけないということのレベルではなくて、あくまでも委員の皆さんが選んでいただく指標として基準を設けているので、３点が絶対だというところではありません。そういったところになります。

○八藤後会長　今のご説明でよろしいですか。こういうことを含めて、事務局のほうで評価候補案を作っていただいたというふうに解釈してよろしいのかなと思いますけれども、質問された方はよろしゅうございますか。

○永野委員　はい。ありがとうございました。

○八藤後会長　ありがとうございます。いろいろ分からないこともあると思いますので、どうぞ聞いてください。多少時間が超過しておりますけれども、いかがでしょうか。

ちょっと今までの議論をまとめたいと思います。新たに付け加えたらいいのではないのかなというのは、３－（４）－②「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」を、事務局では丸がなかったのですが、外部委員の我々がこれをやるということですね。

それから、イベント会場等のことについては、ご提案もありましたが、少し状況が落ち着いてから改めて外部委員でやってもいいんじゃないかなということなので、これについては内部委員でやっていくということでかわらず。

それから一番上の１－（１）－①「ユニバーサルデザインの普及啓発」とか１－（１）－②「多様な人に対する理解の醸成」、これはこのまま残してもいいのかなというようなことで、結論だけ言うと「民間建築物のユニバーサルデザインの誘導」だけが１つ増えた、こういうことになろうかと思いますが、山田先生、こういう進め方でもよろしいですか。

○山田副会長　はい、異存ございません。

○八藤後会長　分かりました。事務局のほうでも、これで皆さんの了解を得てよろしいでしょうか。

○白勢ＵＤ担当係長　事務局としては問題ございません。

○八藤後会長　皆さん、いかがでしょうか。

○白勢ＵＤ担当係長　会場のほうも異議な

しということです。
○八藤後会長　では今言ったように、これを今回の審議事項の結果とさせていただきたいと思います。
　自分自身が第一に入るのか、第二入るのかということについてはどうなるのでしょうか。
○白勢ＵＤ担当係長　八藤後会長ご指摘のとおり、第一評価部会、第二評価部会の名簿（案）と、今決まった１７個の評価の候補を第一、第二のどちらに振り分けるかも併せて確認・決定させていただきたいと思いますので、大変申し訳ないのですが、引き続きご議論いただければなと思っております。以上でございます。
○八藤後会長　これについては、事務局案としてはどこかに出ていましたか。
○白勢ＵＤ担当係長　昨年度までの振り分けの部分を申し上げさせていただきますと、絶対そうだというわけではないのですが、第一評価部会はどちらかというとハード面、建築物であったりとか、そういったもののハード面が主として評価をいただいています。第二評価部会についてはソフト面、印刷物、ホームページいろいろ、そういったソフト面の取組について評価をしていただいています。
　そうした中で振り分けをさせていただきたかったのですが、昨年度はそこで少し入替えがありましたので、今年度はそういった区分けの候補はこちらのほうでは作成せず、ご議論の中で決めていただきたいなと考えております。
　昨年度の評価部会の名簿の部分については、新しく今年から委員になった方々もいらっしゃるのですが、昨年度はおおむねこのメンバー構成で、そのままご了解をいただいたというところでございます。
○八藤後会長　これで意見を求めても、何と答えていいのか分からないんじゃないかなと思うので、去年の例を参考にして今年の案を作っていただく必要があるかなと思います。恐らくそれについては、議論になるかもしれないのですが、第一部会と第二部会の振り分けについては、メールというかそれをやっていると大変なので、例えば会長一任とかにさせていただいて、１６施策ですか、そのぐらい今日は決まったと思いますけれども、第一がどれに入る、第二がどれに入るということが決まった時点で皆様に希望を取って、あるいは事務局案として出していただいて、それで個別に希望を取って次回の８月までにグループを決めていただくというプロセスはいかがでしょうか。
○白勢ＵＤ担当係長　そうしましたら、昨年度、第一、第二評価部会としての候補で挙げさせていただいた施策は私が控えておりますので、非常に配列は簡単でございますので、簡単に今候補として挙げさせていただきたいと思います。
　評価候補の丸の順番、上から言わせていただきます。１－（１）－①「ユニバーサルデザインの普及啓発」から２－（１）－①「多様な人々への移動支援」、これまでの７施策は第二評価部会の候補として挙げておりました。その次、第二評価部会は４－（２）－③「だれもが利用しやすい電子情報の作成」、４－（３）－①「効果的な防災・災害情報等の提供」の２つ、全部で９施策になりますが、この９施策がソフト面というところも大きいので第二評価部会の候補になります。それ以外の２－（２）－①、２－（２）－②、３－（１）－③、３－（２）－①、３－（２）－④、３－（３）－①、３－（４）－②、４－（１）－②が第一評価部会で、全部で８施策になります。ただ、４－（１）－②は、どちらかというとソフト面なので、そちらを第二にしたいところなのですが、そうすると１０個の施策と７個の施策ということで少し偏りがあるので、昨年度はこれを第一にさせていただいておりました。以上になります。
○八藤後会長　ありがとうございました。機転を利かせていただいて、すぐに出していただきありがとうございます。
　ということで、何かご意見がございますでしょうか。
○金子委員　すみません、金子です。今、白勢さんが言ったのがなかなかメモし切れなかったので、申し訳ないですけれども、一つずつ第一か第二か、もう一度言っていただけますか。すみません。
○白勢ＵＤ担当係長　そうしましたら、上から順番に説明させていただきます。
　１－（１）－①、第二評価部会。１－（１）－②、第二評価部会。１－（２）－①、第二評価部会。１－（２）－②、第二評価部会。１－（２）－③、第二評価部会。１－（３）－①、第二評価部会。２－（１）－①、第二評価部会。上から７施策が第二評価部会です。

続いて、２－（２）－①、第一評価部会。２－（２）－②、第一評価部会。２－（１）－③、第一評価部会。３－（２）－①、第一評価部会。３－（２）－④、第一評価部会。３－（３）－①、第一評価部会。３－（４）－②、第一評価部会。４－（１）－②、第一評価部会。ここまで２－（２）－①から８施策が第一評価部会です。最後、４－（２）－③、４－（３）－①が第二評価部会です。今の構成で分けますと、第一評価部会が全部で８個、第二評価部会が全部で９個、合計１７個になります。

○八藤後会長　よろしゅうございますでしょうか。何かご意見ございますか。

○金子委員　私ばかりごめんなさい。新施策番号がずっと左側にあって、チェックするのが一番右側にあるから目が追っていけなくて、もう一度質問していいですか。３－（４）－②は第一ですよね。

○白勢ＵＤ担当係長　はい、そうです。

○金子委員　その下ですけれども、４－（１）－②は……。

○白勢ＵＤ担当係長　第一です。

○金子委員　それから４－（２）－③は……。

○白勢ＵＤ担当係長　第二です。

○金子委員　それから４－（３）－①は第二……。

○白勢ＵＤ担当係長　はい、第二です。

○金子委員　そうすると、第二が９個ですか。

○白勢ＵＤ担当係長　はい。

○金子委員　それで第一が８？

○白勢ＵＤ担当係長　はい、そうです。全部で１７です。

○金子委員　すみません。私だけのために申し訳ありません。ありがとうございました。

○八藤後会長　そんなことないんですよ。私も今聞いて、間違えて印をつけていましたのでよかったです。

　さらにどうぞ。

○村田委員　すみません、村田と申します。先ほど４－（１）－②「区民の意見を区政に反映させる体制の充実」、これを第一評価部会に入れて数的な調整をしていただいたと思うのですけれども、実際的には我々外部委員は全ての１７施策を評価することなので、どちらに行っても仕事量は変わらない。変わってくるのは、８月に予定している第一評価部会、第二評価部会の所管とのヒアリングの割合がかかってくるというところなので、そこだけ調整がつくのであれば、先ほどの４－（１）－②について、第二評価部会でもさして問題はないかなというところも感じました。

○八藤後会長　ありがとうございます。数のアンバランスはあるのだけれどもということですね。

○安岡ＵＤ担当課長　事務局で補足させていただきます。

　まず第一評価部会と第二評価部会なのですけれども、分け方につきましては資料９に載っておりますので、そちらのほうでという形になります。

　申し訳ございません。田中様は前の方の名前が載っていますけれども、商店街のほうで田中様は第二評価部会という形になります。

　確認なのですけれども、施策の評価については、皆様に３１施策を全部やっていただくという形で、部会については８月に第一評価部会、第二評価部会でご参加していただいてという形になります。以上となります。

○八藤後会長　私からちょっと補足しますと、皆様方のご負担を考えて、第一か第二のどちらに実際には出ていただく。これは１個出ても丸半日かかります。なのですが、第一と第二の両方出ていただいている委員の方もいらっしゃいます。そういうことが可能でしたらば、それを妨げるものではないのですね。

　ということで、４－（１）－②を第二に持っていったらいかがかなというご意見だったと思いますが、会議の時間とか何かのアンバランスがあまり大きいとちょっと困ると、そういうことなのだと思います。確かに第二にしたほうが座りはいいですね。これはいかがでしょうか。これは純粋に運営面の話になってくることなのかなと思いますので、事務局どうぞ。

○白勢ＵＤ担当係長　八藤後会長がおっしゃっているとおり運営上の部分のところが大きいので、第一評価部会が７施策、第二評価部会が１０施策で問題ないということであれば、昨年度実施させていただいたときに、午後１時から４時半ぐらいまでで大体１０施策終わらせていただいておりますので、第二評価部会は少し拘束時間が長くなってしまって申し訳ないのですが、第二評価部会の委員のメンバーの皆様でよろしいということであれば、我々のほうとしては第二評価部

会でも問題ないかなと思っています。昨年度は２１という施策で多かったので、第一と第二をハード面とソフト面で分けるとすごく偏りがありまして、ならすというところでソフト面の事業を少し第一評価部会で評価をしていただきました。ただ、今回は１７施策ということで施策数も少し減らしていただいたので、そういった面では、本来のソフト面というところでの第二評価部会にお願いしても問題ないのかなと考えているところです。以上になります。
○八藤後会長　可能ということですね。
○白勢ＵＤ担当係長　はい。
○八藤後会長　では、せっかく出た意見ですので、４－（１）－②を第二評価部会に持っていくということで、今年はやっていこうかなというのはいかがでしょうかね。
　お手が挙がっています。どうぞ。
○白勢ＵＤ担当係長　すみません。音声が途切れています。もう一度よろしいでしょうか。
○渡部委員　４－（１）－②を第二にするのは賛成です。そのかわりに２－（１）－①を第一評価部会で受け持つというのはいかがでしょうか。移動支援なので第一で気になっている方は多いと思います。
○八藤後会長　私もちょっと途切れたのですが、言った内容は把握しております。
　第一から第二に持っていったのがあるのが、第二から第一に持っていくものとしての候補を挙げていただいたものと思います。事務局のほうは、もちろんこれで問題はないですよね。
○白勢ＵＤ担当係長　把握させていただきました。今、渡部委員からご意見頂いたのは、４－（１）－②を第一評価部会から第二評価部会に回すかわりに、２－（１）－①「多様な人々への移動支援」の項目を第二評価部会から第一評価部会に回してはどうかというところのご意見でした。以上です。
○八藤後会長　皆様いかがでしょうか。運営面でもいろいろご考慮いただきましてありがとうございます。
　では、そのように入替えが起こるわけですけれども、よろしいでしょうか、今のご意見で進めていって。
　再度申し上げますが、皆様方は第一評価部会か第二評価部会のどちらかに入っていただくということになります。評価の記入用紙には、どちらも書いていただくというのはもちろんありですし、それから両方の会議に出る、それはかなり大変ですけれども、それも妨げるものではないということでございます。
　では、第一と第二の振り分けに関しては、これでよろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。
　それでは、ここに誰が入るかということについては、事務局は何かお考えがございますか。
○白勢ＵＤ担当係長　第一評価部会、第二評価部会の振り分け方については、こちらのほうはこれまでの委員の構成に合わせて配置させていただいております。田中委員は前の戸苅委員のお名前になってしまって申し訳ございません。ここから移動していただくというのも構いません。
　先ほど八藤後会長からお話しいただいたとおり、第一、第二、両方の部会に出席いただいている委員の方も今までもいらっしゃいました。あくまでも人数を均等割させていただいた結果、６名、６名という形になりますので、両方出たいという方は、こちらは何ら妨げるものではございません。
　例年ですと、１日で午前中、午後という形でやっていたのですが、皆さんのスケジュールを調整させていただく関係上、一昨年から２日間に分けて実施しております。恐らく今年度も２日間に分けての実施になると思いますので、両方参加される場合は２日間、恐らく午後になると思うのですが、お時間をちょっと拘束するという形になります。
　構成に関しては、こちらのほうはあくまでも６人、６人という形での評価部会の構成になっていますので、委員の皆様から移動したいということがあれば、それは何ら問題ございません。
○八藤後会長　それでは、去年やっている方は、そのままでよいのかということと、もし移動したいという方がいれば、今おっしゃっていただくのがいいですね。
　それから、今回新しく加わった委員の方々については、今この場で言えるのだったら、私は第一を希望しますとか、第二を希望しますというふうに直接おっしゃっていただくと、この場で調整がつくということですが、こういう進め方をしてよろしいでしょうかね。
○白勢ＵＤ担当係長　それで問題はないか

と思います。
　我々事務局の進行がうまくなくて、会場とウェブ会議の行き来がうまくいっていないので、できればまずウェブ会議の皆さんにご意見を聞いて、その後会場の皆さんにご意見を聞くという形を執らせていただければ幸いです。
○八藤後会長　それでは、今のような第一、第二の振り分け方について、ウェブの方々のほうで、まずこの決め方についてはよろしいですか。ありがとうございます。
　会場のほうはいかがでしょうか。
○白勢ＵＤ担当係長　会場のほうも問題なく、異議なしということです。
○八藤後会長　ありがとうございます。
　それでは、まず去年経験がある委員の方に伺います。去年の部会から別の部会に移りたいというご意向がある方、ちょっと挙手を願います。これはウェブの方も会場の方も両方です。
○白勢ＵＤ担当係長　会場は誰もいらっしゃいません。
○八藤後会長　では、去年おやりになった方が移りたいという意向がないということで、まず承知しました。
　それから、今年初めて加わるという委員の方、申し訳ありませんが、お一人ずつ、どうしても今ちょっと決められないというのは仕方がないのですが、そうでなければ、今この場で第一とか第二とか言っていただければと思います。すみませんが、この仕切りを事務局でやっていただけませんか。
○白勢ＵＤ担当係長　会場に今年から新しい委員の方々がいらっしゃいますので、順番にこちらからお問い合わせをさせていただきたいと思います。
　まず順番に、上野委員から、よろしくお願いいたします。
○上野委員　このままで結構です。よろしくお願いいたします。
○白勢ＵＤ担当係長　ありがとうございます。
　続きまして、永野委員、いかがでしょうか。
○永野委員　私もこのままで、よろしくお願いします。
○白勢ＵＤ担当係長　そうしましたら、会場の新規の委員の方々は、２名とも問題なく、このままでということになります。
○安岡ＵＤ担当課長　会場のほうは、資料９にあります事務局案で結構という形になりました。
○白勢ＵＤ担当係長　会場で、上野委員と永野委員が新しく今年度から委員になられた方なのですが、２名とも今の案で問題ないというお話を頂きましたので、今の形でメンバー構成は問題ないかなというところでございます。
○八藤後会長　ちょっと聞き取れなかったのですが、一応おさまったということは承知しました。
　第一と第二の人数のアンバランスはありませんか。
○白勢ＵＤ担当係長　今のところ６名、６名ずつということで、この構成の人数のままになりますので、メンバーの人数のバランスはちょうどいいというような状況です。
○八藤後会長　ありがとうございます。ということは、ご希望どおりにおさめられたということで、これで決定ということでよろしゅうございますでしょうか。
　どなたがどれに入ったのかというのを把握しないまま議決するのもちょっとまずいかなと思いますので、事務局でちょっと読み上げていただけますか。
○白勢ＵＤ担当係長　分かりました。事務局で読み上げさせていただきます。
　第一評価部会につきましては、部会長が八藤後先生になります。委員の方々は、上野委員、金子委員、内田委員、白石委員、渡部委員、全部で６名の評価部会になります。第二評価部会につきましては、山田あすか先生が部会長、村田委員、長澤委員、田中委員、金井委員、永野委員、この６名で第二評価部会を構成します。我々区の職員、部長級の職員３名が内部評価部会という形になります。
○八藤後会長　ありがとうございました。今、気がついたのですが、私、八藤後が第一評価部会の部会長ということの提案があるようで、山田あすか副会長が第二評価部会の部会長ということですが、これも併せてご了解いただけるかどうかということでちょっと伺いたいと思います。これでいかがでしょうか。
――ありがとうございます。
　では、これでメンバーの振り分けも決定したということでございます。ということで、これで議事は全て終わりでしょうか。事務局、これで大丈夫ですか。
○白勢ＵＤ担当係長　もう一つ、審議事項

（３）が残ってございます。
　そうしましたら審議事項（３）に入らせていただいてもよろしいでしょうか。

審議事項（３）東京オリンピック・パラリンピック競技大会競技施設におけるユニバーサルデザインの検討状況の確認について
○八藤後会長　失礼しました。審議事項（３）東京オリンピック・パラリンピック競技大会競技施設におけるユニバーサルデザインの検討状況の確認についてがあるようでございます。お願いいたします。
○白勢ＵＤ担当係長　これまでユニバーサルデザインの施策についてのいろいろな評価の関係のお話をさせていただきました。これからお話するのは、ユニバーサルデザイン推進会議の内容ではなくて、我々ユニバーサルデザイン担当課の中での事業のお話になります。推進会議の議題にさせていただいているのですが、会議体でやるものではないというところは、あらかじめご了承いただきたいなと思っています。
　この事業は、実は２０１９年度に東京オリンピック・パラリンピックが開催するということで、新型コロナウイルスの感染が拡大する前に組織委員会、東京都からオリンピック・パラリンピックのチケットを活用した事業がないかというような話がございました。
　その中で、ユニバーサルデザイン、バリアフリーの施策を担当している課としては、協議会、推進会議の委員の皆さんに、こういったオリ・パラ競技大会の競技施設を運営の面で見ていただくことによって、ユニバーサルデザインやバリアフリーのいろいろなハード面、ソフト面の施策について、区の施策に反映していただく一つの材料としてご提供していただきたいということで事業を設定しておりました。チケットについても、２０１９年度末、ちょうど新型コロナウイルスの感染が広がりつつあるときに、仮の内定を組織委員会からいただいておりました。
　ただ、オリンピックが延期になったというところがありまして、その仮の内定から組織委員会から連絡も何もなく、そのうち１年たってしまって、この時期の段階でオリンピック開催の報道というのが出ている中で、今のところこの事業自体が宙に浮いている状況なのですが、開催の方向で報道されているというところ、我々は組織委員会からどういうことになるのかというのは何も聞かされていないという状況の中で、もし万が一開催となりますと、急にお話をしてご参加の意向をお伺いするというのは、このコロナの環境の中ではなかなか難しいかなというところで、まずチケットが頂けるかどうか、果たして観戦ができるかどうかというところを抜いて、こういった施設の視察会というのを我々のほうで開催した際、皆さんとしてご参加いただくかどうかということのご意向を確認したいと思っています。
　当然ながら、この場で確認するつもりは全くございません。それぞれ皆さんのご意見等もありますし、委員の方々の考え方がありますので、それをこの場で皆さんの前でご発言していただくというのは差し控えたい方が多いと思いますので、個別にご相談させていただきたいと思っています。
　重ねてですが、内定を頂いたのはコロナ禍前というところなので、ユニバーサルデザイン推進会議の委員の皆さんとバリアフリー協議会、我々がもう一つ持っている会議体の委員の皆さん、全員分のチケットは、その当時は確保できていました。ただ、オリンピック施設の観戦者も、５割だったり３割だったり無観客だったりという意見がいろいろ報道でありますので、その決定を踏まえて、皆さんのご意向に合わせて、チケットをお配りできるようであればお配りしたいなと考えているところでございます。
　競技の事業の内容であったりとか、事業の目的、対象競技会場については、仮に内定をしていたときの情報になります。まだ確定しているものではないので、想定でしかないのですが、今こういった状況の中で、臨機応変に対応するためにも、皆さんのご意向を今のうちに確認したいなというところでのお話になります。
　また、こういった情報については逐一ご報告させていただきますが、まずはタイミングを見て、それぞれ個別にご相談はさせていただきたいというところでございます。事務局から説明は以上になります。
○八藤後会長　これは別に審議をして結論を出すという性格のものではないと思いますが、そういう情報提供があって、皆さん方に参加を呼びかけていただいたと。参加するかしないかということについては、後日皆さん方に個別に伺いますよと。そういうことで

よろしゅうございますか。
○白勢ＵＤ担当係長　そのとおりでございます。
○八藤後会長　質問があれば受けましょうか。いかがですか。
　私が仕切る内容ではなかったような気もしますけれども、特にないようでございますが。では、そういうことで進めていただきたいと思います。
　一応私のお役目である推進会議そのものの本体は、これで終わらせてよろしいでしょうか。
○安岡ＵＤ担当課長　八藤後会長、どうもありがとうございました。
　それでは、事務局からまたご説明いたします。先ほど事務局から申しましたとおり、評価部会の前に、皆様に評価していただく施策につきましては、資料とともにお送りさせていただきたいと思っております。期限といたしましては、８月の評価部会の前という形になりますけれども、そちらまでにお願いしたいと思います。
　次回は８月中旬頃に第一評価部会、第二部会開催という形になります。正式な日時につきましては、追ってご連絡させていただきます。
　本日は、長時間にわたりましてお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。
　なお、車でお越しの方には、駐車券をご用意しております。お帰りの際に事務局まで申し出ていただければと思います。
　これにて第２８回足立区ユニバーサルデザイン推進会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。ウェブの方もどうもありがとうございました。

閉会